

令和5年度 仙台管内事務職員会 秋季研修会

塩竈ってどんなところ ～塩竈今昔物語～



塩竈市事務職員会

「はじめに」

塩竈市は平成27年度から令和3年度までの7年間、県内で唯一、集中配置での共同実施を行っていました。

その間、事務職員会の活動を休止しており、同じ管内の事務職員でも塩竈市がどんなところなのか、わからない方も多かったのではないかと思います。

令和4年度から、他の市町村と同様の分散配置の共同実施になり、塩竈市内の学校に転入した事務職員も、聞いていたこと、思っていたことと違うことがたくさんありました。

きっと、他の市町村の事務職員のみなさんも、実際とは違う印象を持っているのではないかと考え、この機会に塩竈がどんなところなのかを紹介したいと思います。



1 塩竈市について

○市の概要

塩竈市は宮城県のほぼ中央に位置し、日本三景松島湾の一部千賀の浦周辺に発達し、その風光明媚な地形により古くは古今和歌集をはじめ多くの歌に詠まれてきました。

奈良時代には多賀城国府の荷揚げ港として栄え、江戸時代には伊達家の保護などもあり、鹽竈神社の門前町、仙台への荷揚げ港、松島遊覧の発着所として栄えました。明治以降は東北本線の開通、重要港湾指定など港湾都市として、また近年は魚市場の水揚げで、水産物の一大供給基地として発展してきました。

○塩竈か塩釜か

塩竈市の『竈』の字については、『竈』と『釜』の両方を使用することが認められています。

『竈』は21画と画数が多く、書き方も難しい漢字です。正しい書き順は市役所のホームページで見ることができます。

塩竈市役所で作成する公文書においては、「塩竈」を使用することになっています。ただし、市民の方、あるいは他の官公庁が「塩釜」と表記した文書については、「塩竈」と解釈して受理することとしています。

市役所で、塩竈という表記に統一するようになったのは、昭和16年（1941年）からで、それ以前には、「鹽竈」、「塩竈」、「鹽釜」、「塩釜」など、混在して用いられていました。

○よしこの鹽竈（塩竈みなとまつり）

海の日（7月第3月曜日）に行われる塩竈みなとまつりの陸上パレード。市内の全小中校が参加する。

「よしこの」とは、江戸時代に流行した「よしこの節」という日本独特のリズムのことです。

○塩竈の美味しいもの

寿司 地酒 かまぼこ・練り製品 三陸塩竈ひがしもの（まぐろ）
お菓子 藻塩

- ・「令和4年版 塩竈市のすがた」
- ・塩竈市役所ホームページ
- ・塩釜市観光物産協会ホームページ

より抜粋

2 他市町村の人からみた塩竈のイメージ

仙台管内勤務は長いけれども、塩竈市に勤務したことがない方に印象を聞いてみました。

○学校集金の未納家庭が多そう

最終的な未納は、思ったほど多くはありません。
ただし、そこに至るまでの督促には結構な労力を要します。

市内全体の未納率（令和4年度給食費）：0.48%



○就学援助を受給している家庭が多そう

他の市町村と比べて、準要保護家庭が多いかと思われます。
被災地のため被災就学援助受給者も多いです。

市内全体の

要・準要保護認定者：18.2%（1校あたり約50名）

被災認定者：1.4%（1校あたり約4名）

○市費予算が少なそう

毎年予算は増額されていて、近隣市町村の予算額に近づいています。
また、学校配当予算外で市教委対応のものも多いので、思ったほどではありません。

【市教委予算で対応する主なもの】

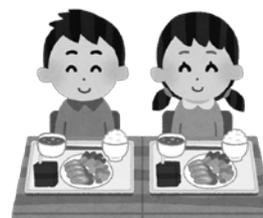
トイレットペーパー、ペーパータオル、消毒用アルコール
プール薬品、ごみ処理料、複合機の使用料

○給食がおいしそう

玉川小学校以外は自校調理方式で校内に調理室があります。（玉川小学校は二小から給食を運搬（親子方式））

ふるさと給食では、「さかなの町塩竈」の特性を生かした給食が提供されます。

- ・浦戸産やきのり
- ・あつあつささかま
- ・しおがまサラダ
- ・にこみおでん
- ・しおがまじる
- ・マグロのオーロラソース



○坂が多い、道が狭い

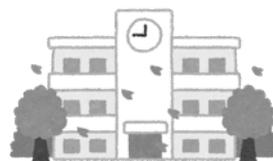
そのとおりです。一方通行区間も多く、道路事情を把握するまでは、出かける時は注意が必要です。

その一方で、駅が多いので公共交通機関を利用するには便利です。

仙石線：西塩釜，本塩釜，東塩釜

東北本線：塩釜

3 各学校の特色



○第一小学校 学級数：10 児童数：211名

今年度創立150周年を迎えました。50年前のタイムカプセル開封式、50年前の卒業生の方々を囲む会など様々な記念行事が目白押しです。

昨年度長寿命化の工事が終わり、ピカピカの校舎が自慢です。

午前5時間授業制を導入しており、給食の時間が他の学校に比べて少し遅いです。すぐ西側には塩釜高校があり、毎日小学生と高校生と一緒に登校しており、朝はとても賑やかです。塩釜の街中に位置しているため、徒歩圏内に教育委員会や銀行があり大変便利です。

○第二小学校 学級数：16 児童数：429名

周囲を山林に囲まれた「いそ山」と呼ばれる山の上に建てられています。

今年度から2年かけて「いそ山」の景観改善のため、樹木の環境整備が予定されており、その費用にはクラウドファンディングで集めたお金が活用されます。

児童数の減少に伴う空き教室は、利府支援学校塩釜校が使用しており、様々な形で交流をしています。

学校周辺の道路はすれ違いができないほど狭い部分があり、いつも「対向車が来ませんように・・・」と祈りながら運転しなければなりません。(児童の登下校の時間帯には一方通行となります。)

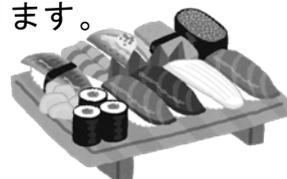
○第三小学校 学級数：17 児童数385名

創立88年の学校です。地域に根付いた学校で、読み聞かせや朝の交通指導などのボランティアさんの協力が盛んです。昭和39年に校舎を全焼する痛ましい出来事もありましたが、地域の協力もあり翌年には新校舎の落成式を迎えることができました。

塩竈神楽「鯛釣り舞」や「よしこの塩竈」などの地域文化の伝承にも取り組んでおり、7月の海の日に行われる塩釜みなと祭りでは「よしこの塩竈」のパレードにも参加しています。

港町塩竈らしく学区内にはたくさんの寿司屋さんがあります。

市内には酒蔵もあります。お楽しみください。



○月見ヶ丘小学校 学級数：19 児童数：431名

塩竈市の高台に位置し、敷地にはたくさんの木や花があり四季を感じることができる素敵な学校です。江戸時代、この土地で「月を愛でる宴」が催されていたそうです。史跡「月見の石」がすぐそばにあります。

特別支援学級が多く、今年度から大規模校になりました。PTA・地域・各種団体との交流が盛んで、EM菌作り・月見祭・集楽祭・七夕飾り作りなど、たくさんの活動をしており、笑顔あふれる学校です

○杉の入小学校 学級数：21 児童数：507名

第二小学校の児童数増加に伴い学区を分離し、昭和52年4月1日に開校しました。

現在は市内で一番児童数が多く、校庭は県内の小学校で一番広いと言われています。休み時間には児童がのびのびと遊んでおり、チャイムが鳴ると全力疾走で戻ってきます。(もちろん校舎内は歩きます。)学校の北側は住宅地が広がっており、漁港もあります。東側には、魚市場や仲卸市場など様々な工場が立ち並んでおり、幹線道路、駅、スーパーやホームセンター、公園などなんでも揃っています。

○玉川小学校 学級数：16 児童数320名

玉川小学校は塩竈市の西部の住宅地に位置しており、JR東北本線塩釜駅や最寄りの銀行まで徒歩10分以内で行くことが可能となっています。

本校はバドミントン選手の平山優さんの母校となっており、現在も体力・運動能力向上の実現を目指すべく活動に取り組んでいます。本校ならではの取り組みを挙げると、毎月5の付く行間及び昼休みに「外にGoGoDay」という、身体を動かす外遊びの充実と継続的な取組を行っています。

○第一中学校 学級数：12 生徒数：278名

1947年開校の中学校で学校のすぐ近くには鹽竈神社があります。毎朝この鹽竈神社を通して通学している生徒もいます。

鹽竈神社には202段の階段がありそこを使って練習する部活もあります。

校庭には桜の木が植えてあり、春になると綺麗に咲いています。

学校の周辺は急な坂路が多く狭い道路が多いため車を運転する際は慎重に運転する必要があります。

また、花粉の季節になると鹽竈神社から大量の花粉が飛散していたので花粉に弱い方にとっては厳しい環境かもしれません。

○第二中学校 学級数：12名 生徒数：332名

今年で創立75年目になる、高台の住宅街にある学校です。

昨年度から校舎の大規模改修をしています。新しい事務室の完成が楽しみです。

特色ある行事は、「立志発表会」です。これは元服式にちなんだ行事で、2年生生徒が、教職員と保護者が見守る中、将来の夢や希望を発表します。昨年度は、キャンドルの幻想的な雰囲気の中で行われ、ニュース番組でも紹介されました。



○第三中学校 学級数：8 生徒数：192名

学校名は塩竈市立第三中学校ですが、住所は多賀城市なのが特徴です。部活動に、郷土芸能部があり塩竈の祭りに参加したり外部から取材などを受けていたりしています。

今年度からは、体育の授業で学校のプールではなく外部の塩竈市温水プールユープルを使用することになったので、温水のため生徒達はとても喜んでいきます。

○玉川中学校 学級数：13 生徒数：336名

昭和36年（1961年）に塩竈市立第一中学校玉川分校として1年生のみ143人でスタートした学校です。

生徒数は記録によると昭和59年には904名22クラスという時代もありましたが、現在は336名と1学年3クラス規模となっています。

玉中では「玉中アゲハ」というものに取り組んでいます。

「玉中アゲハ」とは

ア 明るくさわやか、心が通い合うあいさつ

ゲ 整然とかかたがそろい、一人一人の心もそろろう下駄箱

ハ 一日の始まりを落ち着いた雰囲気にするハートフルタイム

（朝の読書タイム）

下駄箱の靴はいつもきちんとそろえられていて、とても気持ちのいい学校です。

○浦戸小中学校 小学校 学級数：3 児童数：18名

中学校 学級数：3 生徒数：20名

浦戸諸島内の野々島にある、宮城県内で唯一の離島に存在する学校です。

また、仙台管内で唯一のへき地校です。小規模特認校であり学区外からの生徒も受け入れています。全校児童生徒38名のうち、浦戸諸島内からの通学者は0名です。

平成27年度より施設併設型の小中一貫校となり、独自の教科「浦戸探究科」（他校で言う総合的な学習の時間）を中心として、小中9年間を見通した一貫教育を展開しています。小中で教員が相互に乗り入れ授業を行うなど、児童生徒が特別活動等で協同・交流するなど小中一貫教育を推進しています。

カヌー体験やアサリ採取など、恵まれた自然環境を生かした活動を多く取り入れ、ふるさとを愛する心や丁寧な礼儀作法の指導を行い、相手を思いやる心を育てています。

また、教員が脚本を作成し、児童生徒全員が出演する、創作演劇活動「ACT」は、毎年、遊ホールで公演を行っており、文化活動にも力を入れています。



4 塩竈市の特色

○市費について

- ・ 四半期ごとの配当
- ・ 給食費が公会計化されていない。
- ・ 備品購入は学校での随意契約が良い。(1件10万円以下)
- ・ 学校に郵券がない。

郵送したいものがある場合は、市教委に依頼して郵送してもらうため日数に余裕をもって処理しなければならない。(14時まで教育総務課に届けば当日発送してくれる。)

- ・ 学校からの予算要求は行わない。
(令和4年度は市教委の職員が学校に来てヒアリングを実施)
- ・ 校外学習等(下見も含む)の引率者の入場料は、事後の請求書提出で良い。



○学校担当者制度

- ・ 教育委員会の若手職員が月1回以上学校を訪問し、校長、教頭、事務職員等から学校の現状等を聞く。
- ・ 行事への出席
(年度当初に学校と調整して、出席・参加する行事をあらかじめ決める)
- ・ 授業の見学(授業参観、公開授業等の参加、市教委訪問等の同行)
- ・ 施設系の学校の施設点検の同行

○その他

- ・ 学校で使用できるトラックがある。
(普段は玉川中に駐車しており、市教委に連絡して使用する)
- ・ 市教委は市役所本庁舎とは別の壺番館(昔の七十七銀行)というビルの3階にある。敷地内に駐車場がなく、駐車場からは5分ほど歩かないといけないため、事務指導や大きな荷物があるときは不便である。
- ・ 職員室と各教室にエアドッグがある。
- ・ 市の防災無線でお昼になると音楽が流れる。曲は月ごとに替わり、3月は卒業シーズンのため、日替わりで塩釜高校を含む市内の各学校の校歌が流れる。



5 共同実施について

塩竈市では平成27年度から7年間、県内で唯一の集中型での共同実施を行ってきました。



平成27年度から令和3年度（集中型）

塩竈市第一学校事務支援室 （第一中学校内）

- ・ 第一小学校
- ・ 第二小学校
- ・ 杉の入小学校
- ・ 第一中学校
- ・ 第二中学校

塩竈市第二学校事務支援室 （玉川中学校内）

- ・ 第三小学校
- ・ 玉川小学校
- ・ 月見ヶ丘小学校
- ・ 第三中学校
- ・ 玉川中学校
- ・ 浦戸小中学校

※浦戸小中学校は学校に常駐

学校事務の体制が変わりました

シリーズ **学校では** 44

4月1日から学校事務支援室が設置され、市内12校の事務体制が以下のように変わりました。

今まで：各学校に学校事務職員が常駐し事務を行っていました



①～⑥の問い合わせ・相談は、
通学する学校ではなく、直接
支援室にご連絡ください

- ①学校集金に関する相談
- ②就学援助の申請などに関する相談
- ③特別支援就学奨励費に関する相談
- ④学割など諸証明に関する相談
- ⑤通学定期に関する相談
- ⑥そのほか教育支援に関する相談

4月1日から：学校事務支援室に事務職員が集まり、連携校を巡回しながら事務を行います
※ただし、浦戸小中学校には、事務職員が常駐します

第一学校事務支援室（第一中学校内）

☎ 365-5116

連携校：一小・二小・杉小・二中

学校事務支援室

第二学校事務支援室（玉川中学校内）

☎ 365-3651

連携校：三小・月見小・玉小・三中
浦戸小中学校

☎ 365-3216
学校教育課 学校教育係

広報しおがま2015年5月号より

集中型のメリット

- ・複数の事務職員による連携。
- ・複数の事務職員がいるので、単数配置とは違って味方がいる感覚で仕事ができる。だが県立の事務室とはまた違った関係である。
- ・カバーしてくれるので年休等が取得しやすい。
- ・個人としてではなく組織として回答されるから混乱が起きない。
- ・特定業務の繁忙期(年度末の給与事務など)には、全員で協力してその業務に取り組むことができた。
- ・日常的に経験やノウハウを共有することで、能力向上につながった。
- ・初任層または小中学校勤務が初めての職員には先輩方からの指導があるので助かった。
- ・書類の相互点検が日常的に行われるので誤りが少ない。
- ・複数校に一律の情報を提供するために、わかりやすく資料が作られていたし、それを作る時間があった。
- ・現金集金がある際は、皆で協力して早めに処理することができる。
- ・兄弟姉妹情報が確認しやすい。(就学援助等)
- ・分担制による専門性の強化
- ・事務分担制なので集中的に取り組める。専門性が増す。また専門性が高まったことによりそれぞれが効率的に事務処理を行うために創意工夫しながら事務処理ができる。
- ・複数校の事務処理をするので様々な事例があり勉強になった。
- ・業務に集中できる環境
- ・支援室直通の電話だったので、外部からの電話は少ない。来客対応などもなく教員への取り次ぎ等があまりない。
- ・学校内の雑務を押しつけられることがない。特に若手事務職員。
- ・連携校との距離があるがために、早め早めに業務に取りかかり、締め切りに余裕を持って取り組むことができた。
- ・いろいろな先生と顔見知りになれる。他の職場で一緒になったとき、仕事がやりやすい。

集中型のデメリット

- ・学校と支援室が別の場所にあるため、文書の決裁等、様々なことで時間を要した。
- ・学校にいないので行事、児童生徒の家庭状況などが把握しにくかった。
- ・事務職員不在の分、学校(特に教頭先生)の負担が増えていた。
- ・事務処理の方法や効率化の提案をするにも、全ての連携校と話し合う必要があり、各学校の実情等を考慮すると、統一して進めることに多くの労力と時間を要した。
- ・学校に常駐していないため先生方と話をする機会が少なく、信頼関係を構築しづらいように感じた。
- ・分担制で行っていたので、小中学校の事務処理の流れの全体像が掴みにくかった。

令和4年度（分散型）

塩竈市第一学校事務支援室 （拠点校：第一中学校）

- ・ 第一小学校
- ・ 第二小学校
- ・ 杉の入小学校
- ・ 第一中学校
- ・ 第二中学校
- ・ 浦戸小中学校

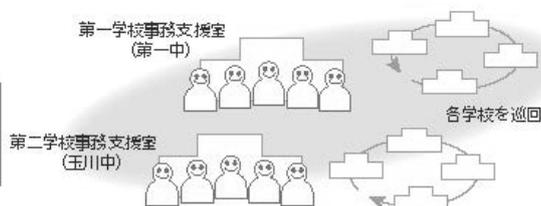
塩竈市第二学校事務支援室 （拠点校：玉川中学校）

- ・ 第三小学校
- ・ 玉川小学校
- ・ 月見ヶ丘小学校
- ・ 第三中学校
- ・ 玉川中学校

4月1日から市内小中学校の事務体制が変わります

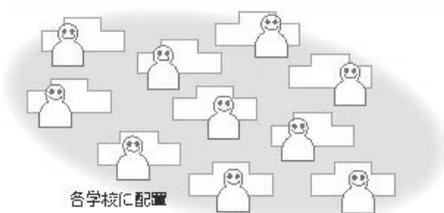
今までは…

市内2カ所の学校事務支援室に学校事務職員を配置し、各学校の事務を行っていました。
（浦戸小中学校のみ学校へ配置）



4月1日からは…

各学校に事務職員を配置し、事務を行います。



以下に関する問い合わせや相談は
通学する学校に連絡をお願いします

- ① 学校集金に関すること
 - ② 口座集金に関すること
 - ③ 就学援助費に関すること
 - ④ 特別支援就学奨励費に関すること
- など

☎ 学校教育課学校教育係 ☎ 022-365-3216

⑪ 広報しおがま2022年3月号

広報しおがま2022年3月号より

令和5年度から（分散型）

塩竈市学校事務支援室 （拠点校：第一中学校）

- ・ 第一小学校
- ・ 第二小学校
- ・ 第三小学校
- ・ 杉の入小学校
- ・ 月見ヶ丘小学校
- ・ 玉川小学校
- ・ 第一中学校
- ・ 第二中学校
- ・ 第三中学校
- ・ 玉川中学校
- ・ 浦戸小中学校

分散型になったことによる問題点，改善・検討が必要になったこと

・学校集金関係

浦戸小中学校以外は，未納対策として，現金集金と口座振替の併用で集金をしていた。

口座振替・・・給食費，PTA会費

現金集金・・・教材費，学年費等（主に授業参観等の日等に集金。）

集中型の時は集金日に支援室から数名が各学校に行き，複数名で集金していたが分散型になり，各学校の体制（事務職員以外の人員の配置）が異なり，人員を割いてもらえなかった学校は大変だった。

今年度から，小学校はほとんどの学校が全額口座振替に変更した。未納者が増えることが予想されたため，初月の振替金額を多めに設定したり，学校集金を減額調整するなど，各校それぞれ工夫をした。

中学校は業者への支払いが滞ることが予想されたため，全額口座振替にせず，昨年度同様の方法で集金している学校が多い。

また，集金の項目や金額についても，今後精査が必要である。（保護者負担の軽減）

・各様式等の見直し

復命書等，様式に支援室の欄があるもの。

・会計簿様式の検討

支援室で作成したものを使い続けるか。管内の他市町村のように，管内事務職員会で推奨しているものに変更するか。

・文書管理

文書分類表の明確化，電子データと簿冊名不一致のため探しにくい状況。

また，第一支援室と第二支援室ですでに分け方が異なっているため，統一を図る必要がある。

・環境の変化

集中型だと学校行事等に関わる必要がなく，業務も分担制なので集中して業務に取り組めた。

分散型になったことで，職員室（一部の学校は事務室）で電話や来客の対応をしながらの業務，学校行事への参加等で今までにはなかった業務も発生し，今までのやり方では負担が大きすぎると感じた人が多かった。



分散型になって事務職員が戸惑った点

- ・ いるのにいない人
7年間事務職員がいなかったため、様々な書類を最初に事務に出すという習慣がなかった。(いなかったのだから当然といえば当然。)
- ・ 前任者がたくさん
業務によって前任者が違うので、誰に何を聞けばよいのか、わかりづらかった。
- ・ 必要なものがない
過年度の文書等の一部が支援室に残されたままになっており、必要になった時に慌てた。各種手引き、マニュアル等が備わっていなかった。
- ・ 学校に事務職員がいたら・・・。
職員室や事務室、書庫等が集中配置開始前の状態のまま整理整頓されていなかった。
よく使う消耗品のストックがなく、逆にいつ買ったのかわからない大量の消耗品がでてきたりした。
処理年限を越えた文書も廃棄されず残っていた。
- ・ 集中型だからできたけど・・・
教材費や給食費の集金について、支援室独自の集金方法をしていたため、各学校に1人となった事務職員では対応が難しかった。煩雑なため、自分自身が仕組みを理解するのに時間を要した。
- ・ どちらの方法で・・・？
第一支援室と第二支援室とでは、違う事務処理をしていたものがあり、同じ市内なのに様式が違うものを使用していた。
- ・ 周知不足
前もって保護者にお知らせはしたのだが、支援室がなくなったことが伝わっていないことも多く、支援室のあった第一中学校と玉川中学校に保護者からの問い合わせがいくことが多々あった。

これから取り組んでいくこと。

- ・ 集中型から分散型への変更に伴い生じている各校の課題解決。
- ・ 市費予算の増額を要求し、学校集金を減額していく。
- ・ 就学援助事務の効率化
- ・ 文書分類の見直し
- ・ 様式の統一
- ・ 備品台帳の整備

「おわりに」

分散型共同実施となってから2年目を迎えました。

集中型の時は最善だったことが、分散型では上手くいかないことも多々あり、未だ戸惑うことの多い毎日ですが、確実に昨年度よりは前に進んでいると感じています。

各々の学校で、児童生徒のことを見聞きし、他の教職員の方々と情報共有しながら仕事をするこゝでのやりがいもあり、「やっぱり学校に事務職員がいるといいなあ」と感じてもらえるよう、日々努力しています。

今回、8年ぶりとなる管内事務職員会での地区発表でしたが、発表の準備を通じて私たちも改めて塩竈を知る良い機会となりました。

みなさんにもこの発表をきっかけに、塩竈に興味を持っていただけたら幸いです。

ご清聴
ありがとうございました



塩竈市事務職員会

	令和4年度	令和5年度
第一小学校	奥間 由希絵	奥間 由希絵
第二小学校	新妻 和子	新妻 和子
第三小学校	佐々木 修	佐々木 修
杉の入小学校	伊藤 大斗	阿部 早紀
月見ヶ丘小学校	阿部 玲奈	阿部 玲奈
	大谷 光枝	大谷 光枝
玉川小学校	岸谷 夏奈美	岸谷 夏奈美
第一中学校	櫻田 浩章	櫻田 浩章
第二中学校	千葉 令依	千葉 令依
第三中学校	櫻井 鮎子	櫻井 鮎子
		村上 奈緒
玉川中学校	遠藤 優子	遠藤 優子
	柴田 すぎ乃	
浦戸小・中学校	長田 龍人	長田 龍人